

SELENE-Bシンポジウム

SELENE-Bシンポジウムとは？



平成13年7月17日

SELENE-B 検討グループ
中谷一郎

SELENE-B とは？

- ・まだ承認されたミッションではない
- ・月軟着陸実験をコアとする技術実証
- ・研究フェーズが始まったばかり

本シンポジウムは？

- ・基本的には BRAIN STORMING である

- SELENEの当初計画：
 - 1年間の月周回観測
 - ➡ プラス 月軟着陸実験 (VLBI電波源)
- 変更： 軟着陸実験の分離
 - ➡ 研究フェーズへ
(H12年8月、宇宙開発委員会)
- H13年度に研究開着手
(NASDA・NAL・ISAS)
 - ➡ 3年程度で技術確立
- 技術実証ミッション (SELENE-B) 提案を
目指す

- SELENEから独立した、月軟着陸技術
の確立
→ (技術実証ミッション/工学実験機)
- 長期的月探査戦略に基づく技術の確立
- 高い信頼性を持ち、望ましい場所への
の軟着陸
(Selene - 2以降をにらんだ戦略の確立)
- 世界トップクラスの科学も併せて実施
- 外国との協力も視野にいれた検討

- ・ 打上ロケット：H-II 相乗り
（打上時探査機重量1.5トン規模、
着陸機ドライ重量 400 kg規模）
- ・ 打上年度：2006年度（目標）
- ・ ミッション期間：月面の昼間（2週間）
- ・ 着陸場所候補：月の表側
- ・ 科学観測候補：ローバによる地質学的な観測など
- ・ 主要技術：ピンポイント着陸、障害物回避、着陸機構、科学観測機器、ローバ技術など

・NASDA、NAL、ISAS の共同研究・開発体制 プラス外部研究機関

SELENE-B
検討会

航法誘導制御・
画像センサ分科会

着陸船機構・メカ分会

NASDA・NAL・ISAS

ローバー・サイエンス
分科会

SELENE-B に関して:

- ・ 広範囲のアイディアの発掘
- ・ より広範囲の研究者の参加呼びかけ

より長期的には:

- ・ 月、惑星探査技術研究者のコミュニティの情報共有と連携強化